



南島原市国際交流員

クリオスタ

※Curiosit  は「プチ情報」という意味

# サーラのCuriosit !! 南島原 「復活祭」



イースターに欠かせないカラフルに色づけした卵

今回は「パスクア」というお祭りについて書きたいと思  
います。皆さんには、あまり馴染みのないお祭りだと思  
いますが、「イースター」といえばご存知の方もいらっしゃる  
かもしれません。

キリストが十字架にかけられ亡くなってから、3日後に  
蘇ったことを記念する日で、イタリアでは大きなお祝いの  
中の一つです。

開催時期は、春分の日の後、最初の満月の次の日曜日に  
ありますので、大体3月下旬～4月上旬となります。ちな  
みに、今年は4月1日です。

キリスト教徒にとって、復活祭の直前の40日間ぐら  
い(四旬節)は、キリストが砂漠で過ごした40日間にちな  
んだ食事、祈りと難行苦行の時期になります。そして、その  
最後の日は復活祭の前日、夜から朝にかけて教会で徹夜  
の祈りがあって、教会団体と一緒にミサをおこなって祈り、日  
が昇ったら一緒に宴会をして食べます。

キリストの受難を象徴するオリーブの木の枝と、復活を  
象徴するカラフルに彩られた卵の殻を飾ります。そして、  
家族全員が揃って、朝食を食べます。朝食は手作りのココ  
ア、ゆで卵、ちょっとしたものが入ったチョコレート卵な  
どを、郷土料理と祝いの料理でテーブルがいっぱい。でも、  
食べ物より大事にしていることは、食べ物の感想や冗談な  
ど、絶え間ないおしゃべりです。

食べ終わり、テーブルの片付けと洗いのものを終わると、  
ソファに寝転んだりして、昼食を作る時間までくつろいで  
過ごします。

そして昼食の時間になり、皆お腹一杯でも「伝統だから  
食べようよ!」とかいいながら、フルコースを食べ続けま  
す。それから、遅くまでおつまみを食べながら話し合っ  
てトランプで遊びます。

翌日の月曜日も「パスクエッタ」という祝日になります。  
復活祭は家族で過ごしますが、パスクエッタは友達と過  
すことが多いです。それでも、食べることとおしゃべりが  
中心なのは変わりありません。

田舎で過ごすことが主流で、特に田舎の家やレストラ  
ンで食事をしたり、公園でピクニックをしたりします。

このように、祝日全体がそうですが、イタリアでは宗教  
的な意味合いが弱まりつつあります。現在は、食べ物と大  
事な人々との交流が中心になっているので、誰でも楽しめる  
祝日となっています。皆さんもコミュニケーションの  
きっかけとして利用してはいかがでしょうか?

## イタリア語講座受講生募集

企画振興課 ☎73-6631 FAX 82-3086  
E-mail: cir@minami-shimabara.jp

国際交流員サーラのイタリア語講座(初級・全5回)を  
開催します。

イタリア語の知識が全くない人に向けた講座です。  
お気軽にご参加ください。

5月...15日(火)、22日(火)、29日(火)

6月...5日(火)、12日(火)

午後7時30分～9時 ※時間共通

西有家総合学習センターカマス

イタリア語の基礎

定員12人程度 ※初心者優先 無料 4月27日(金)

電話、FAX、Eメールで「住所・氏名・電話番号」を申し  
込んでください。



## 一日消防署長として防火啓発

3月1日から7日までの春の全国火災予防運動に合わ  
せ、1日に防火啓発パレードを実施しました。

今年は、国際交流員のサーラさんを一日消防署長に  
委嘱し、火災予防運動を実施しました。

出発式を終えると、消防署員、消防団員、幼年消防ク  
ラブの園児たちは須川商店街防火啓発パレードを行い、  
市民へ火災予防を呼びかけました。



## 私たちはあの日を忘れない リメンバー3.11

東日本大震災や熊本地震の災害の記憶を風化させず後世へと語り継  
ぎ、復興への願いを込めて毎年開催されている復興支援イベント「リメ  
ンバー3.11」が、3月11日に西有家町の須川港多目的防災広場で開催さ  
れました。

当日は、地元園児によるひよっこ踊りや和太鼓演奏などのステー  
ジイベントのほか、海上自衛隊輸送艇の一般公開、県防災ヘリコプター「な  
がさき」の模擬訓練や、防災・減災に関連するブース出展などが行われ、  
訪れた人たちの防災意識の向上が図られました。

また、会場には復興支援のための募金箱が設置され、訪れた人た  
ちから多くの募金が寄せられました。



## ヨロンの海を背に駆け抜けました!

3月4日に鹿児島県与論町で開催された「第27回ヨロンマ  
ラソン2018」に、姉妹都市交流事業の一環として、本市か  
ら選手5人(フルマラソン3人、ハーフマラソン2人)が参加  
しました。

当日は真夏のような日差しの中、町民の皆さんの温かい応  
援やおもてなしに励まされ、坂道が多く険しいコースも乗り  
切り、選手全員が完走することができました。

また、前日にはウェルカムパーティ、マラソン後にはピー  
チにて完走パーティが開催され、かりゆしバンドの演奏や踊  
りなど、会場が一体となり、「与論献奉」という与論島独特  
の飲酒の儀式でお酒を酌み交わしながら町民の皆さんと交流  
を深めました。与論町の皆さん、尊々我無!(ありがとう)

## Focus in 南島原 まちの話題



## 応募数更新 セミナリヨ現代版画展

今年で17回目となるセミナリヨ現代版画展が  
2月24日からはじまり、初日に受賞作品の表彰  
式を行いました。

過去最多の応募数1万3,843点の中から部門  
ごとに表彰を行いました。

第3部門(一般の部)でセミナリヨ大賞を受賞  
した鈴木彩さん(栃木県)は、「セミナリヨ大賞  
に選んでいただき、びっくりしたと同時に大変  
光栄に思います」と喜びを語りました。



## 宝くじ助成事業で「歓皆の会」が 原城一夜城を製作

「歓皆の会」は、原城一揆まつりでお披露目している「原  
城一夜城」を、地域コミュニティ活動の促進および世界遺  
産への登録の機運を高める目的で、新たに製作しました。

今回の活動は、平成29年度一般コミュニティ助成事業を  
活用しています。この事業は、宝くじの社会貢献広報事業  
として宝くじ受託事業収入を財源とした自治総合センター  
の助成事業で、地域住民のコミュニティ活動を活性化させ  
ることを目的としています。新しく製作した「原城一夜城」  
は、今年の原城一揆まつりでお披露目します。

■原城一揆まつり  
日時: 4月14日(土)、場所: 原城本丸および周辺